

令和4年度

障害者の情報取得及びコミュニケーションに関する施策の実施報告

(共生社会実現のための障害者の情報取得及びコミュニケーションに関する条例
第7条関係)

1 情報取得及びコミュニケーション支援の充実				
(1) コミュニケーション等支援者の養成				
①講習会等の開催				
(ア) 手話通訳者				
名 称		開催時期	受講者数	修了者数
手話講習会				
	初級	4月～翌3月(全48回)	31人	26人
	基本	6月～翌1月(全28回)	14人	14人
	応用	6月～11月(全18回)	5人	5人
神奈川県手話通訳者 養成講習会		4月～翌3月(全82回)	12人	4人
手話通訳者現任者研修		1月(全1回)	8人	8人
(イ) 要約筆記者				
名 称		開催時期	受講者数	修了者数
神奈川県要約筆記者 (PC)養成講習会		4月～1月(全52回)	4人	4人
要約筆記者	PC	7月、9月(全2回)	9人	9人
現任者研修	手書き	10月、12月(全2回)	16人	16人
(ウ) 盲ろう者通訳・介助員				
名 称		開催時期	受講者数	修了者数
神奈川県盲ろう者通訳・ 介助員養成講習会		9月～12月(全15回)	1人	0人

(エ) 点訳・音訳ボランティア

名 称	開催時期	受講者数	修了者数
点訳基礎講習会	5月～3月（全37回）	18人	15人
音訳基礎講習会	5月～3月（全33回）	11人	10人

(オ) 失語症者向け意思疎通支援者

名 称	開催時期	受講者数	修了者数
神奈川県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会	7月～2月（全8回）	0人	0人

(2) コミュニケーション等支援者の派遣の拡充

① 支援者の派遣

名 称	公的機関	医療機関	その他	合計
手話通訳者	111件	545件	114件	770件
要約筆記者	74件	5件	16件	95件
盲ろう者通訳・介助員※	—	—	—	13件
失語症者向け意思疎通支援者※	—	—	—	0件

※盲ろう者通訳・介助員、失語症者向け意思疎通支援者については、神奈川県に委託しており、派遣先別で分けていません。

② 点字図書館ボランティアの養成

iPadサポートボランティア養成講習会 3回 5人

(3) 情報取得及び情報コミュニケーションの支援のための機器の情報収集、利用普及

コミュニケーション支援ツールの情報収集を行った。

2 コミュニケーション等手段の普及の啓発

(1) 市内の講演会等でのコミュニケーション等支援者の配置の啓発

①手話通訳者・要約筆記者の配置

	行事数	配置人数
手話通訳者	40	161人
要約筆記者	1	4人

※毎年、市が実施する事業については、次年度の予算編成方針説明会にて、障害者への情報保障について説明を行い、不特定多数の市民を対象とする講演会や式典等への手話通訳者や要約筆記者の配置を依頼している。

(2) 障害者の理解を深めるための市民への啓発

①手話・要約筆記の初心者向け教室の開催

名 称		開催時期	受講者数	修了者数
初心者向け手話教室の実施		6～7月、10～11月 (全10回)	27人	24人
初心者向け	PC	11月、12月 (全2回)	3人	3人
要約筆記教室	手書き	9月、10月 (全2回)	8人	8人

②災害時の障害者の支援について (ガイドブックの配布)

当協議会で協議のうえ作成した「災害時の障害のある方への配慮とサポートについて」のガイドブックを、令和4年12月に市内の関係者・関係機関あて送付した。

送付先		箇所数	配布枚数
市内		104	176
市外	民生委員・児童委員	657	657
	町内会	371	742
	学校	92	192
	医療機関・薬局	103	609
	公共交通機関	26	78
	商店会	67	134
	その他	75	364
合計		1,495	2,952

③点字図書館見学の受け入れ

(ア) 神奈川県立短期大学の学生

3回 (6/7・25人、6/14・26人、6/21・26人)

(イ) 湘南学院高等学校の学生

1回 (10/25・12人)

(ウ) 市内小学校

根岸小学校 (9月28日・99人)

池上小学校 (10月3日・98人)

浦賀小学校 (11月18日・70人)

沢山小学校 (2月20日・15人)

④視覚障害者への理解を深めるための研修会への講師としての参加

(ア) 京急電鉄 2回 (5/26、11/8)

3 情報取得の機会の拡大及び方法の充実

(1) 点字版、録音版等、多様な方法での情報発信

① 広報よこすかの点字版・録音版の作成

	送付総数（部）	送付先	
		個人（人）	団体
点字版	163	7	6
録音版	897	65	6

② 市の発行物についての情報保障

(ア) 作成部数の多い発行物について、点訳・音訳を行う。

※毎年、次年度の予算編成方針説明会にて、他部課に依頼している。

(イ) 視覚障害者が使用する画面読み上げソフトを利用して閲覧できるよう、市のホームページに可能な限りテキストデータをアップロードする。

③ アクセシブル行政資料作成システムの構築

視覚障害者に迅速に情報提供を行うため、テキストデータを音声に変換する合成音声システムを運用し、改善を重ねる。（音声データをCDで配布）

・作成した資料 「障害者福祉の手引き」資料編（令和4年度）

点字図書館図書目録（令和3年度）

(2) 不特定多数の人が集まる場所における音声、文字、手話、視覚情報等による情報提供の充実

市立施設における情報・コミュニケーション等のバリアフリー状況の現況を把握するため、アンケート調査を行った。